

令和8年度 浦西中学校 各教科シラバス

学 年	1 年	教科名	家庭科
教科担当	川満 美智子		
教科書名	新しい技術・家庭 家庭分野 (自立と共生を目指して) 東京書籍		
副 教 材	技術・家庭学習ノート 家庭分野1 沖縄県版		

「シラバス」とは、各教科の授業内容や学習の方法、評価の方法などを記した総合的な学習計画のことです。浦西中学校の「シラバス」は、生徒の皆さんが1年間、何を学び、どのように学習を進めていくかを示すことで、見通しを持って、計画的・主体的に授業に取り組めることをねらいとして作成しています。

また、各教科の評価の観点から3観点としてシラバスに示してあります。

I「知識・技能」…各教科等で、学習する過程で身に付けた知識や技能の習得状況について評価を行います。また、それらを既に身に付けている知識や技能と関連付けたり活用したりする中で、他の学習や生活の場面でも活用できる程度に、概念として理解したり技能を習得したりしているかについて評価を行います。

II「思考・判断・表現」…各教科等の知識や技能を活用して課題を解決するために必要な思考力、判断力、表現力を身に付けているかを評価します。

III「主体的に学習に取り組む態度」…知識や技能を獲得したり、思考力、判断力、表現力を身に付けたりすることに向けた粘り強い取り組みの中で、自ら学習を調整しようとしているかを評価します。

生徒の皆さんは、各教科の授業における「学び」が実生活とつながっているということを実感し、各教科が示す「基礎的・基本的な知識・技能の確実な習得」ができるよう努力してください。さらに「各教科で学んだ基礎的・基本的な知識・技能を活用する活動(思考・判断・表現等)」に積極的に取り組んで下さい。この地道な努力が、「主体的に学ぶ力(=学びに向かう力)」を育成することにつながります。

1 (家庭) 科の目標と評価について

教科の 目標	<p>衣食住生活の営みに係る見方・考え方を働かせ、衣食住などに関する実践的・体験的な活動を通して、よりよい生活の実現に向けて、生活を工夫し創造する資質・能力を次のとおり 育成することを旨とする。</p> <p>(1) 家族・家庭の機能について理解を深め、家族・家庭、衣食住消費や環境などについて、生活の自立に必要な基礎的な理解を図るとともに、それらに係る技能を身に付けるようにする。</p> <p>(2) 家族・家庭や地域における生活の中から問題を見いだして課題を設定し、解決策を構想し、実践を評価・改善し、考察したことを論理的に表現するなど、これからの生活を展望して課題を解決する力を養う。</p> <p>(3) 自分と家族、家庭生活と地域との関わりを考え、家族や地域の人々と協働し、よりよい生活の実現に向けて、生活を工夫し創造しようとする実践的な態度を養う。</p>
評価の 観点	<p>(知識・技能)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・家族・家庭の基本的な機能について理解を深め、生活の自立に必要な家族・家庭、衣食住、消費や環境などについて理解しているとともに、それらに係る技能を身に付けている。 <p>(思考・判断・表現)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・これからの生活を展望し、家族・家庭や地域における生活の中から問題を見いだして課題を設定し、解決策を構想し、実践を評価・改善し、考察したことを論理的に表現するなどして課題を解決する力を身に付けている。 <p>(主体的に学習に取り組む態度)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・家族や地域の人々と協働し、よりよい生活の実現に向けて、課題の解決に主体的に取り組んだり、振り返って改善したりして、生活を工夫し創造し、実践しようとしている。
方 評 法 価	<p>○「知識・技能」は、単元テストや実技テスト、作品を評価します。</p> <p>○「思考・判断・表現」は、ノートの記述や実習等の実践計画書、グループでの話し合いや発表、学習活動の記録をまとめたシートを評価します。</p> <p>○「主体的に学習に取り組む態度」は、ノートの記述や授業中の発言、自己評価シートの内容を評価します。</p> <p>※テストの点数だけでは評価は決まりません。提出物や日々の授業を大切にしましょう。</p>

2 (家庭) 科の学習について

進授 め業 方の	<ul style="list-style-type: none"> ・今日の「めあて」目標をしっかりと聞き、「めあて」を達成するための活動に真剣に取り組み、「めあて」が達成できたか、今日の「まとめ」「振り返り」を行います。 ・授業の準備物など忘れ物の確認をします。(実習で使う裁縫セット・エプロン、三角巾も含む) ・学習課題等を捉え、自分なりの問いを持ち、解決する方法を工夫する。 ・ICT機器を活用し、視覚的に分かる授業を展開します。 ・目的や対象等を意識して、伝わるように話したり、文章を書いたりする。 ・学習の記録(ノート等)は、工夫してまとめるとともに、自分の考えや気付いたことなども書き込みます。
テ ス 元 ト	<ul style="list-style-type: none"> ・各題材ごとに小テストまたは単元テストを行います。 ・テスト範囲は、テスト1週間前までには提示します。

3 年間指導計画(その①)

4月(10月)	<p>1編1章 家庭分野のガイダンス</p> <p>①題材名(教材名) 自立と共生を目指そう</p> <p>②概ね満足な姿(B規準)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・自分の成長と家族や家庭生活との関りについて理解している。 ・家族や地域の人々と協力・協働して家庭生活を営む必要があることに気づいている。 <p>1編2章 私たちの家族と家庭生活</p> <p>①題材名(教材名) 1 私たちの家族と家庭生活</p> <p>②概ね満足な姿(B規準)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・自分の成長と家族や家庭生活との関わりについて理解している。 ・家族・家庭の基本的な機能について理解している。 ・家族や地域の人々と協力・協働して家庭生活を営む必要があることに気付いている。 <p>①題材名(教材名) 2 中学生と家族の1日の家庭生活</p> <p>②概ね満足な姿(B規準)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・自分の成長と家族や家庭生活との関わりについて理解している。 ・家族・家庭の基本的な機能について理解している。 ・家族や地域の人々と協力・協働して家庭生活を営む必要があることに気付いている。 <p>①題材名(教材名) 3 私たちがになう家族・家庭の機能</p> <p>②概ね満足な姿(B規準)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・自分の成長と家族や家庭生活との関わりについて理解している。 ・家族・家庭の基本的な機能について理解している。 ・家族や地域の人々と協力・協働して家庭生活を営む必要があることに気付いている。 <p>6編3章 持続可能な家庭・地域生活</p> <p>①題材名(教材名) 1 家族との関わり</p> <p>②概ね満足な姿(B規準)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・家族の互いの立場や役割について理解している。 ・家族と協力することによって、家族関係をよりよくできることについて理解している。 <p>①題材名(教材名) 3 地域での協働を目指して</p> <p>②概ね満足な姿(B規準)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地域の人々と協力・協働して家庭生活を営む必要があることに気づいている。 ・家庭生活は地域との相互の関わりで成り立っていることについて理解している。
	<p>5編2章 責任ある消費者になるために</p> <p>①題材名(教材名) 1 何を考えて決めますか～意思決定のプロセス～</p>

	<p>②概ね満足な姿(B規準) ・物資・サービスの選択に必要な情報の収集・整理が適切にできる。</p>
	<p>2編1章 食事の役割と中学生の栄養の特徴</p> <p>①題材名(教材名) 1 食事の役割</p> <p>②概ね満足な姿(B規準) ・生活の中で食事が果たす役割について理解している。</p> <p>①題材名(教材名) 2 私たちの食生活</p> <p>②概ね満足な姿(B規準) ・健康に良い食習慣について理解している。</p> <p>①題材名(教材名) 3 栄養素の種類と働き</p> <p>②概ね満足な姿(B規準) ・栄養素の種類と働きについて理解している。</p> <p>①題材名(教材名) 4 中学生に必要な栄養</p> <p>②概ね満足な姿(B規準) ・中学生に必要な栄養の特徴について理解している。</p> <p>2編2章 中学生に必要な栄養素を満たす食事</p> <p>①題材名(教材名) 1 食品に含まれる栄養素</p> <p>②概ね満足な姿(B規準) ・身近な食品の栄養的特質について理解している。</p> <p>①題材名(教材名) 2 6つの食品群と食品群別摂取量の目安</p> <p>②概ね満足な姿(B規準) ・中学生の1日に必要な食品の種類と概量について理解している。</p> <p>①題材名(教材名) 3 バランスのよい献立作り</p> <p>②概ね満足な姿(B規準) ・1日分の献立作成の方法について理解している。</p> <p>2編2章 中学生に必要な栄養素を満たす食事</p> <p>①題材名(教材名) 1 日常食の調理 2 野菜・いもの調理 3 肉の調理 4 魚の調理</p> <p>②概ね満足な姿(B規準) ・食品や調理用具等の安全と衛生に留意した管理について理解しているとともに、適切にできる。 ・材料に適した加熱調理の仕方について理解しているとともに、基礎的な日常食の調理が適切にできる。</p>
	<p>3編1章 衣服の選択と手入れ</p> <p>①題材名(教材名) 4 衣服の手入れ①～衣服の補修～</p> <p>②概ね満足な姿(B規準) ・衣服の材料や状態に応じた日常着の手入れ(補修)について理解しているとともに、適切にできる。</p>

<p>9月 ～10月 (2週目) 10月(2週目) ～3月</p>	<p>①題材名(教材名) 5 衣服の手入れ② ～衣服の洗濯と保管～ ②概ね満足な姿(B規準) ・衣服の材料や状態に応じた日常着の手入れ(洗濯と保管)について理解しているとともに、適切にできる。</p> <p>3編2章 生活を豊かにするために 1 作って楽しい布作品</p> <p>②概ね満足な姿(B規準) ・製作する物に適した材料や縫い方について理解しているとともに、用具を安全に取り扱い、製作が適切にできる。</p>
---	---

令和8年度 浦西中学校 各教科シラバス

学 年	2年	教科名	家庭科
教科担当	川満 美智子		
教科書名	新しい技術・家庭 家庭分野 (自立と共生を目指して) 東京書籍		
副教材	技術・家庭学習ノート 家庭分野2 沖縄県版		

「シラバス」とは、各教科の授業内容や学習の方法、評価の方法などを記した総合的な学習計画のことです。浦西中学校の「シラバス」は、生徒の皆さんが1年間、何を学び、どのように学習を進めていくかを示すことで、見通しを持って、計画的・主体的に授業に取り組めることをねらいとして作成しています。

また、各教科の評価の観点から3観点としてシラバスに示してあります。

I「知識・技能」…各教科等で、学習する過程で身に付けた知識や技能の習得状況について評価を行います。また、それらを既に身に付けている知識や技能と関連付けたり活用したりする中で、他の学習や生活の場面でも活用できる程度に、概念として理解したり技能を習得したりしているかについて評価を行います。

II「思考・判断・表現」…各教科等の知識や技能を活用して課題を解決するために必要な思考力、判断力、表現力を身に付けているかを評価します。

III「主体的に学習に取り組む態度」…知識や技能を獲得したり、思考力、判断力、表現力を身に付けたりすることに向けた粘り強い取り組みの中で、自ら学習を調整しようとしているかを評価します。

生徒の皆さんは、各教科の授業における「学び」が実生活とつながっているということを実感し、各教科が示す「基礎的・基本的な知識・技能の確実な習得」ができるよう努力してください。さらに「各教科で学んだ基礎的・基本的な知識・技能を活用する活動(思考・判断・表現等)」に積極的に取り組んで下さい。この地道な努力が、「主体的に学ぶ力(=学びに向かう力)」を育成することにつながります。

1 (家庭) 科の目標と評価について

教科 目標	<p>衣食住生活の営みに係る見方・考え方を働かせ、衣食住などに関する実践的・体験的な活動を通して、よりよい生活の実現に向けて、生活を工夫し創造する資質・能力を次のとおり 育成することを旨とする。</p> <p>(1) 家族・家庭の機能について理解を深め、家族・家庭、衣食住消費や環境などについて、生活の自立に必要な基礎的な理解を図るとともに、それらに係る技能を身に付けるようにする。</p> <p>(2) 家族・家庭や地域における生活の中から問題を見いだして課題を設定し、解決策を構想し、実践を評価・改善し、考察したことを論理的に表現するなど、これからの生活を展望して課題を解決する力を養う。</p> <p>(3) 自分と家族、家庭生活と地域との関わりを考え、家族や地域の人々と協働し、よりよい生活の実現に向けて、生活を工夫し創造しようとする実践的な態度を養う。</p>
評価 観点	<p>(知識・技能)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・家族・家庭の基本的な機能について理解を深め、生活の自立に必要な家族・家庭、衣食住、消費や環境などについて理解しているとともに、それらに係る技能を身に付けている。 <p>(思考・判断・表現)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・これからの生活を展望し、家族・家庭や地域における生活の中から問題を見いだして課題を設定し、解決策を構想し、実践を評価・改善し、考察したことを論理的に表現するなどして課題を解決する力を身に付けている。 <p>(主体的に学習に取り組む態度)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・家族や地域の人々と協働し、よりよい生活の実現に向けて、課題の解決に主体的に取り組んだり、振り返って改善したりして、生活を工夫し創造し、実践しようとしている。
評価 方法	<ul style="list-style-type: none"> ○「知識・技能」は、単元テストや実技テスト、小テスト、作品を評価します。 ○「思考・判断・表現」は、レポートや実習等の実践計画書、グループでの話し合いや発表、学習活動の記録をまとめたシートを評価します。 ○「主体的に学習に取り組む態度」は、ノートの記述や授業中の発言、自己評価シートの内容を評価します。 <p>※テストの点数だけでは評価は決まりません。提出物や日々の授業を大切にしましょう。</p>

2 (家庭) 科の学習について

進授 め業 方の	<ul style="list-style-type: none"> ・今日の「めあて」目標をしっかりと聞き、「めあて」を達成するための活動に真剣に取り組み、「めあて」が達成できたか、今日の「まとめ」「振り返り」を行います。 ・授業の準備物など忘れ物の確認をします。(実習で使う裁縫セット・エプロン、三角巾も含む) ・学習課題等を捉え、自分なりの問いを持ち、解決する方法を工夫する。 ・ICT機器を活用し、視覚的に分かる授業を展開します。 ・目的や対象等を意識して、伝わるように話したり、文章を書いたりする。 ・学習の記録(ノート等)は、工夫してまとめるとともに、自分の考えや気付いたことなども書き込みます。
テ ス ト 元	<ul style="list-style-type: none"> ・各題材ごとに小テストまたは単元テストを行います。 ・テスト範囲は、テスト1週間前までには提示します。

3 年間指導計画(その①)

4月(10月)	<p>①教科ガイダンス</p> <p>②概ね満足な姿(B規準)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・自分の成長を振り返りを通して、中学生の時期にある自分と家族や家庭生活との関わりについて関心を持って、学習に取り組もうとしている。
	<p style="text-align: center;">6編2章 幼児の生活と家族</p> <p>①題材名(教材名) 1 幼い頃の振り返り</p> <p>②概ね満足な姿(B規準)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・幼い頃を振り返り、周囲の人との関わり大切さについて気づいている。
	<p>①題材名(教材名) 2 幼児の体の発達</p> <p>②概ね満足な姿(B規準)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・幼児の発達の特徴(身体の発育や運動機能)について理解している。
	<p>①題材名(教材名) 3 幼児の心の発達</p> <p>②概ね満足な姿(B規準)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・幼児の発達の特徴(言語、認知、情緒、社会性)について理解している。
	<p>①題材名(教材名) 4 幼児1日の生活</p> <p>②概ね満足な姿(B規準)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・幼児の生活の特徴(1日の生活)について理解している。
	<p>①題材名(教材名) 5 支えられて身に付ける生活習慣</p> <p>②概ね満足な姿(B規準)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・幼児の生活の特徴(生活習慣)について理解している。 ・子どもが育つ環境としての家族の役割について理解している。
	<p>①題材名(教材名) 6 幼児の生活と遊び</p> <p>②概ね満足な姿(B規準)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・幼児にとっての遊びの意義について理解している。
	<p>①題材名(教材名) 7 遊びを豊かにする物</p> <p>②概ね満足な姿(B規準)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・幼児にとっての遊びの意義について理解している。
	<p>①題材名(教材名) 8 幼児との関わり方の工夫</p> <p>②概ね満足な姿(B規準)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・幼児との関わり方について理解している。

	<ul style="list-style-type: none"> ・幼児との関わり方について問題を見いだして課題を設定し、実践に向けた計画を考え、工夫している。 ・幼児との関わり方について、課題の解決に主体的に取り組もうとしている。
①題材名(教材名) 9 幼児との関わり方を生活に生かす ②概ね満足な姿(B規準)	<ul style="list-style-type: none"> ・幼児との関わり方について、実践を評価したり改善したりし、課題解決に向けた一連の活動について、考察したことを論理的に表現している。 ・よりよい生活の実現に向けて、幼児との関わり方について、課題解決に向けた一連の活動を振り返って改善したりして、工夫し創造し、実践しようとしている。
①題材名(教材名) 10 子どもにとっての家族 ②概ね満足な姿(B規準)	<ul style="list-style-type: none"> ・子どもが育つ環境としての家族の役割について理解している。 ・家族や地域の人々と協働し、よりよい生活の実現に向けて、子どもが育つ環境としての家族の役割について工夫し創造し、実践しようとしている。
①題材名(教材名) 5編3章 持続可能な家庭・地域生活 1 家族との関わり ②概ね満足な姿(B規準)	<ul style="list-style-type: none"> ・家族の互いの立場や役割について理解している。 ・家族と協力することによって家族関係をよりよくできることについて理解している。 ・家族関係をよりよくする方法について問題を見いだして課題を設定し、実践に向けた計画を考え、工夫し、実践を評価したり改善したりし、課題解決に向けた一連の活動について、考察したことを論理的に表現している。 ・家族や地域の人々と協働し、よりよい生活の実現に向けて、家族関係をよりよくする方法について、課題の解決に主体的に取り組んだり、課題解決に向けた一連の活動を振り返って改善したりして、工夫し創造し、実践しようとしている。
①題材名(教材名) 2 家族や地域の高齢者との関わり ②概ね満足な姿(B規準)	<ul style="list-style-type: none"> ・高齢者など地域の人々と協働する必要があることや、介護など高齢者との関わり方について理解している。 ・高齢者との関わり方について問題を見いだして課題を設定し、実践に向けた計画を考え、工夫し、実践を評価したり改善したりし、課題解決に向けた一連の活動について、考察したことを論理的に表現している。 ・家族や地域の人々と協働し、よりよい生活の実現に向けて、高齢者との関わり方について、課題の解決に主体的に取り組んだり、課題解決に向けた一連の活動を振り返って改善したりして、工夫し創造し、実践しようとしている。
①題材名(教材名) 3 地域での協働を目指して ②概ね満足な姿(B規準)	<ul style="list-style-type: none"> ・地域の人々と協力・協働して家庭生活を営む必要があることに気づいている ・家庭生活は地域との相互の関わりで成り立っていることについて理解している。 ・地域の人々と関わり、協働する方法について問題を見いだして課題を設定し、実践に向けた計画を考え、工夫し、実践を評価したり改善したりし、課題解決に向けた一連の活動について、考察したことを論理的に表現している。 ・家族や地域の人々と協働し、よりよい生活の実現に向けて、地域の人々と関わり、協働する方法について、課題の解決に主体的に取り組んだり、課題解決に向けた一連の活動を振り返って改善したりして、工夫し創造し、実践しようとしている。

	<p>5編1章 私たちの消費生活</p> <p>①題材名(教材名) 1 消費者としての自覚</p> <p>②概ね満足な姿(B規準)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・売買契約の仕組みについて理解している。 ・物資・サービスの選択・購入、自立した消費者としての消費行動について、問題を見いだして課題を設定している。
	<p>①題材名(教材名) 2 販売方法と支払方法</p> <p>②概ね満足な姿(B規準)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・購入方法や支払い方法の特徴を理解している
	<p>①題材名(教材名) 3 バランス良く計画的な金銭管理</p> <p>②概ね満足な姿(B規準)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・計画的な金銭管理の必要性について理解している。 ・売買契約の仕組み(三者間契約)について理解している。 ・計画的な金銭管理の必要性について、課題の解決に主体的に取り組もうとしている。
	<p>①題材名(教材名) 4 消費者トラブルとその対策</p> <p>②概ね満足な姿(B規準)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・消費者被害の背景とその対応について理解している。
	<p>4編2章 責任ある消費者になるために</p> <p>①題材名(教材名) 1 何を考えて決めますか～意思決定のプロセス～</p> <p>②概ね満足な姿(B規準)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・物資・サービスの選択に必要な情報の収集・整理が適切にできる。 ・物資・サービスの選択・購入について問題を見いだして課題を設定し、実践に向けた計画を考え、工夫し、実践を評価したり改善したりし、課題解決に向けた一連の活動について、考察したことを論理的に表現している。 ・よりよい消費生活の実現に向けて、物資・サービスの選択・購入について、課題の解決に主体的に取り組んだり、課題解決に向けた一連の活動を振り返って改善したりして、工夫し創造し、実践しようとしている。
	<p>①題材名(教材名) 2 消費者としてできること～権利と責任～</p> <p>②概ね満足な姿(B規準)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・消費者の基本的な権利と責任について理解している。 ・自立した消費者としての責任ある消費行動について考え、工夫している。 ・自立した消費者としての責任ある消費行動について、課題の解決に主体的に取り組もうとしている。
	<p>4編3章 持続可能な消費生活</p> <p>①題材名(教材名) 1 省エネルギーと持続可能な社会</p> <p>②概ね満足な姿(B規準)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・自分や家族の消費生活が環境や社会に及ぼす影響について理解している。 ・自立した消費者としての責任ある消費行動(環境に配慮した生活)について考え、工夫している。 ・自立した消費者としての責任ある消費行動(環境に配慮した生活)について、課題の解決に主体的に取り組もうとしている。
	<p>①題材名(教材名) 8 持続可能な消費生活を目指して</p> <p>②概ね満足な姿(B規準)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・持続可能な消費生活を目指して、課題とその解決方法について考え、工夫している。

・よりよい消費生活の実現に向けて、自立した消費者としての責任ある消費行動について、工夫し創造し、実践しようとしている。

令和8年度 浦西中学校 各教科シラバス

学 年	3年	教科名	家庭科
教科担当	川満 美智子		
教科書名	新しい技術・家庭 家庭分野 (自立と共生を目指して) 東京書籍		
副教材	技術・家庭学習ノート 家庭分野3 沖縄県版		

「シラバス」とは、各教科の授業内容や学習の方法、評価の方法などを記した総合的な学習計画のことです。浦西中学校の「シラバス」は、生徒の皆さんが1年間、何を学び、どのように学習を進めていくかを示すことで、見通しを持って、計画的・主体的に授業に取り組めることをねらいとして作成しています。

また、各教科の評価の観点から3観点としてシラバスに示してあります。

I「知識・技能」…各教科等で、学習する過程で身に付けた知識や技能の習得状況について評価を行います。また、それらを既に身に付けている知識や技能と関連付けたり活用したりする中で、他の学習や生活の場面でも活用できる程度に、概念として理解したり技能を習得したりしているかについて評価を行います。

II「思考・判断・表現」…各教科等の知識や技能を活用して課題を解決するために必要な思考力、判断力、表現力を身に付けているかを評価します。

III「主体的に学習に取り組む態度」…知識や技能を獲得したり、思考力、判断力、表現力を身に付けたりすることに向けた粘り強い取り組みの中で、自ら学習を調整しようとしているかを評価します。

生徒の皆さんは、各教科の授業における「学び」が実生活とつながっているということを実感し、各教科が示す「基礎的・基本的な知識・技能の確実な習得」ができるよう努力してください。さらに「各教科で学んだ基礎的・基本的な知識・技能を活用する活動(思考・判断・表現等)」に積極的に取り組んで下さい。この地道な努力が、「主体的に学ぶ力(=学びに向かう力)」を育成することにつながります。

1 (家庭) 科の目標と評価について

教科の目標	<p>衣食住生活の営みに係る見方・考え方を働かせ、衣食住などに関する実践的・体験的な活動を通して、よりよい生活の実現に向けて、生活を工夫し創造する資質・能力を次のとおり 育成することを目指す。</p> <p>(1) 家族・家庭の機能について理解を深め、家族・家庭、衣食住消費や環境などについて、生活の自立に必要な基礎的な理解を図るとともに、それらに係る技能を身に付けるようにする。</p> <p>(2) 家族・家庭や地域における生活の中から問題を見いだして課題を設定し、解決策を構想し、実践を評価・改善し、考察したことを論理的に表現するなど、これからの生活を展望して課題を解決する力を養う。</p> <p>(3) 自分と家族、家庭生活と地域との関わりを考え、家族や地域の人々と協働し、よりよい生活の実現に向けて、生活を工夫し創造しようとする実践的な態度を養う。</p>
評価の観点	<p>(知識・技能)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・家族・家庭の基本的な機能について理解を深め、生活の自立に必要な家族・家庭、衣食住、消費や環境などについて理解しているとともに、それらに係る技能を身に付けている。 <p>(思考・判断・表現)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・これからの生活を展望し、家族・家庭や地域における生活の中から問題を見いだして課題を設定し、解決策を構想し、実践を評価・改善し、考察したことを論理的に表現するなどして課題を解決する力を身に付けている。 <p>(主体的に学習に取り組む態度)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・家族や地域の人々と協働し、よりよい生活の実現に向けて、課題の解決に主体的に取り組んだり、振り返って改善したりして、生活を工夫し創造し、実践しようとしている。
評価方法	<ul style="list-style-type: none"> ○「知識・技能」は、単元テストや実技テスト、小テスト、作品を評価します。 ○「思考・判断・表現」は、レポートや実習等の実践計画書、グループでの話し合いや発表、学習活動の記録をまとめたシートを評価します。 ○「主体的に学習に取り組む態度」は、ノートの記述や授業中の発言、自己評価シートの内容を評価します。 <p>※テストの点数だけでは評価は決まりません。提出物や日々の授業を大切にしましょう。</p>

2 (家庭) 科の学習について

進授 め業 方の	<ul style="list-style-type: none"> ・今日の「めあて」目標をしっかりと聞き、「めあて」を達成するための活動に真剣に取り組み、「めあて」が達成できたか、今日の「まとめ」「振り返り」を行います。 ・授業の準備物など忘れ物の確認をします。(実習で使う裁縫セット・エプロン、三角巾も含む) ・学習課題等を捉え、自分なりの問いを持ち、解決する方法を工夫する。 ・ICT機器を活用し、視覚的に分かる授業を展開します。 ・目的や対象等を意識して、伝わるように話したり、文章を書いたりする。 ・学習の記録(ノート等)は、工夫してまとめるとともに、自分の考えや気付いたことなども書き込みます。
テ ス ト 元	<ul style="list-style-type: none"> ・各題材ごとに小テストまたは単元テストを行います。 ・テスト範囲は、テスト1週間前までには提示します。

3 年間指導計画(その①)

4月～	<p>①教科ガイダンス</p> <p>②概ね満足な姿(B規準)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・衣生活と住生活について、人を取り巻く環境として捉え、これからの学習に関心を持ち、意欲的に取り組もうとしている。 <p>2編 私たちの衣生活</p> <p>①題材名(教材名) 1 衣服の働きを考えよう</p> <p>②概ね満足な姿(B規準)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・目的に応じた着用について、考えようとしている。 ・衣服の社会生活上の働きや目的に応じた着用について理解している。 <p>①題材名(教材名) 2 T.P.O.を踏まえた自分らしい着方を工夫しよう</p> <p>②概ね満足な姿(B規準)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・自分らしさを表現することに関心を持ち、着方について考え、工夫している。 <p>①題材名(教材名) 3 衣服の計画的な活用方法を考えよう</p> <p>②概ね満足な姿(B規準)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・衣服の計画的な活用の必要性について理解している。 <p>①題材名(教材名) 4 必要な衣服を選択しよう</p> <p>②概ね満足な姿(B規準)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・既製服を購入するポイントを理解している。 ・既製服選びの情報を収集し、整理できる。 ・目的に応じた既製服の選択について考え、工夫している。 <p>①題材名(教材名) 5 生活を豊かにするための工夫をしよう(被服製作)</p> <p>②概ね満足な姿(B規準)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・布を用いた物の製作に関心を持って工夫している。 ・生活を豊かにする方法を考え工夫している。 ・縫い方や用具の安全な取り扱い方が分かる。 ・衣服や小物の製作ができる。
～2月	<p>3編 私たちの住生活</p> <p>①題材名(教材名) 1 住まいの役割と住まい方を考えよう</p> <p>②概ね満足な姿(B規準)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・住まいに関心を持ち、住まいの役割について考えようとしている。 ・生活行為と住空間の関係について理解している。 ・日本の各地の住まいとその特徴について理解している。 <p>①題材名(教材名) 2 住まいの安全について考えよう</p>

	<p>②概ね満足な姿(B規準)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・家族が安全に住むために、家庭内事故について考えようとしている。 ・家庭内事故の防止について、高齢者や幼児などの視点から、家庭で実践できる方法を考え、工夫している。
	<p>①題材名(教材名) 3 災害に備えた住まい方について考えよう</p> <p>②概ね満足な姿(B規準)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・災害に備えた住まい方について理解している。 ・自然災害への備えについて家庭で実践できる方法を考え、工夫している。 <p>①題材名(教材名) 4 健康で快適な室内環境を工夫しよう</p> <p>②概ね満足な姿(B規準)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・健康で心地よく住むための室内環境の条件を理解している。 ・音が生活に及ぼす影響について理解している。 <p>①題材名(教材名) 5 よりよい住生活を目指して</p> <p>②概ね満足な姿(B規準)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・これまでの学習を生かし、家族が安全で快適に住むための方法について、さまざまな観点から考え、工夫している。